

市民講座プログラム

最前線で取組む研究者による、港湾・海岸・空港の整備や防災に関する市民講座を開催致します。

【場 所】①会場 国土技術政策総合研究所 3階 大会議室

【定 員】80名（定員になり次第締め切りとさせていただきますので、予めご了承下さい。）

時 間	タイトル・講演者・概要
①10:30～11:00	国土技術政策総合研究所 研究所紹介
②11:00～11:30	『海辺に生き物の住み処（すみか）をつくる』 国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室長 古川 恵太 海辺の自然再生を目標として、生き物の住み処づくりの研究を行っています。浚渫土砂を活用した干潟造成や、護岸の改修による稚魚・カニ・ゴカイの住み処づくり等の実験の概要、観測結果を紹介します。
③11:30～12:00	『港（みなと）の技術のあれこれ』 国土技術政策総合研究所 港湾研究部 主任研究官 宮田 正史 港を構成する岸壁等の設計・施工技術は日々進歩しています。この講座では、これらの最新の状況をご紹介しますとともに、港の様々な技術が海上空港の建設などにも広く適用されている現状を、現在急ピッチで建設が進められている羽田空港新滑走路（海上空港）を例として紹介します。
④13:00～13:30	『空港についてのいろいろな話』 国土技術政策総合研究所 空港計画研究室長 丹生 清輝 出張や旅行で空港をよく使う人でも、空港については意外に知らないのではないのでしょうか？ この講座では、そんな空港の豆知識をいろいろ紹介します。
⑤13:30～14:00	港湾空港技術研究所 研究所紹介
⑥14:00～14:30	『網チェーン式消波ブロック移設装置の開発と実用化 ～水深180mに沈んだ水中翼の回収に成功～』 港湾空港技術研究所 施工・制御技術部 新技術研究官 野口 仁志 当装置は、潜水土等の支援を必要とせず、吊りワイヤーの巻き上げ下げ操作だけで、対象物を掴み上げることが出来るものです。既設消波ブロックの撤去工事や、本年7月には水深180mの海底に沈んだ水中翼の回収に活用され成功しました。
⑦14:30～15:00	『海の波を測る』 港湾空港技術研究所 海洋・水工部長 永井 紀彦 港湾空港技術研究所は、全国港湾海洋波浪情報網（ナウファス）の中核機関です。海象計やGPS波浪計などの最新の波浪・津波観測システムの開発も、港湾空港技術研究所の研究成果の一つです。本講座では我が国の沿岸波浪観測の歴史と現状をご紹介します。
⑧15:00～15:30	『地震の正体を知って、地震に負けない備えを！』 港湾空港技術研究所 地盤・構造部 主任研究官 野津 厚 地震の時に揺れやすい場所と揺れにくい場所があるって本当？最近話題の長周期地震動っていったい何？それはどこで起きるの？全国各地の地震計の記録を紹介しながら分かりやすく説明します。